平和・自立・共生　ともにつくる黄金南風の平和郷・はえばる

はえばる議会だより

平成25年
12月定例会
No.184
平成26年2月21日発行

まちの2大ルールを制定
議会基本条例・まちづくり基本条例 …… 2
辺野古沖移設に反対する意見書 …… 5
北丘小に仮校舎建設はじまる …… 6
委員会レポート …… 7
12人の議員が一般質問 …… 8

写真　石川勤子さん（さんご保育園）
「桃太郎をやっつけるぞ！
保育発表会に向けて猛練習」
題字　新垣ちとせさん（宮平）

町民参加の拡大・議員の資質向上が柱

開かれた議会を目指す

議会基本条例制定

行政との意見交換会

県内先進議会視察

議会基本条例講演会

12月定例会

12月10日～20日までの10日間の会期で開きました。

町民・町・議会の役割を明記した「議会基本条例」・「まちづくり基本条例」や普天間基地県内移設反対の意見書など、すべての議案を可決しました。

一般質問では12人の議員が政策提言をしました。

議会基本条例って何？

南風原町議会は、町民の声を聴き、政策提言できる「開かれた議会」を目指すため「南風原町議会基本条例」を制定しました。

南風原町議会基本条例は町民福祉の向上と公正で民主的な町政の発展に寄与することを目的としています。

議会と町民・行政との関係や議会の役割を明確化し、議会が取り組む基本的な姿勢を明記しました。

全文は町議会ホームページに掲載しています。検索は「南風原町議会基本条例」

議会基本条例は必要？

地方分権の時代を迎え、町の自主的な決定と責任の範囲が拡大しています。議会も政策立案、提言を行う議会へと改革していかなければなりません。

さらに、町民参加と協働のもと、公正性・透明性のある議会、開かれた議会づくりが求められています。

町議会独自のルールを定め、各議員が役割を再認識し、実践することで、さらに行動力のある議会となるよう制定しました。

議会のあり方を町民に対して宣言し、身近で存在感のある議会となるよう努めます。

議会活動報告会（小学校区ごと４会場２日間にわたり開催）

議会基本条例の特徴は？

議会基本条例は9章28条からなります。【前文】では、議員の資質向上、情報公開と住民参加の推進など、町民の信託に応える決意を述べています。

◆町民との意見交換会

議会活動報告会や各種団体との懇談の場を持ち、町民の議会活動参加の機会を確保します。

◆議員間の自由討議

賛否を多数決で決めるのみでなく、多様な意見を出し合い、議員相互間の議論を尽くします。

◆一般質問の充実

対面式とし、緊張関係を保ちます。また、答弁書の事前配布や反問権（町長等が議員へ逆質問できる）で論点の明確化に努めます。

◆政務活動費の創設

政策提言・政策提案の充実を図るため、議員の調査研究に必要な経費の一部を交付します。議員の資質向上に努め、使途の透明性を確保します。

◆情報公開の充実

すべての会議を原則公開とし、インターネット中継や議会だよりなどを通して、町民が議会と町政に関心を持つよう、情報の公開に努めます。

議会活性化の歩み

（誌面の都合上、一部抜粋）

平成

14年3月
一般質問一問一答方式

一般質問の充実のため、質問制限時間30分以内での一問一答方式を導入しました。

21年9月
賛否の状況を公表

賛否が分かれた状況を議会広報に掲載。25年3月から全議案の賛否をHPに公表。

23年6月
議会活性化調査特別委員会設置

「議会基本条例」制定をはじめ、議会改革の調査・検討を行うため、設置しました。

24年4月
議会活動報告会の実施

町政全般に関して、町民と情報共有や意見交換をするため、報告会を開催します。

25年3月
一般質問対面方式採用

町長と向き合い議論する姿勢を明確にするため、一般質問席を演壇向かいに設置。

25年9月
一般質問 答弁書配布

質問・答弁の論点を明確にし、充実した質疑になるよう、答弁書を事前配布としました。

25年12月
インターネットによる議会中継

本会議の状況をいち早く提供するため、インターネット中継と録画配信を開始しました。

開かれた議会

25年12月 議会基本条例制定

議会基本条例制定

まちづくりのルール

まちづくり基本条例 修正可決

特別委員会（議長を除く全議員）で審議

まちづくり基本条例とは？

南風原町は「参画と協働」のもと、まちづくりに取り組んできました。

さらに参画と協働を推進するため、まちづくりの理念や進め方に対して、公募委員が意見を出し合い、パブリックコメントを募り、本条例が誕生しました。

誰もがまちづくりの主役となり、行動していくためのルールが「まちづくり基本条例」です。

町民・議会・行政がそれぞれの役割を理解し、「情報共有」「参画と協働」のまちづくりを進めることを明記し、町条例の最高規範として位置付けました。

全会一致で修正可決

「町民の役割」について、次のような修正案を提出し、可決しました。

修正前

条例のなかで町民に「責務」が課されている。

修正後

「町民の役割と責務」に関する4か所から**「責務」の文言を削除**する。

条例で町民に対して、まちづくりへの参画に責務を課すことは適当でないと考えました。また、「責務」の文言を削除しても、条文の趣旨に影響が生じないと判断し、まちづくり基本条例の一部を修正しました。

賛否分かれる

規約変更の内容は？

・管理者制から理事会制へ変更
・組合議員は構成市町村の議長で構成する
・一部団体のみの関係議案は関係市町村選出議員の過半数の賛成が必要（特別議決）

南部広域行政組合規約の変更について

採決の結果	中村勝	大城真孝	上原喜代子	玉城勇	浦崎みゆき	大城毅	宮城寛諄	金城好春	宮城清政	知念富信	赤嶺奈津江	花城清文	赤嶺雅和	照屋仁士	玉城光雄
可決	ー	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠

○：賛成　×：反対　欠：欠席
ー：中村勝議員は議長のため採決に加わっていません

意見書

辺野古沖移設を強引に推し進める政府に対して激しく抗議し、普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去を求める

普天間基地の閉鎖・撤去、県内移設断念、オスプレイ配備撤回を県民総意「オール沖縄」でまとめあげてきた。

しかし、日米両政府は県民総意を無視し、「辺野古移設」を力ずくで押し付けようとしている。

本町議会はこれまでも沖縄の過重な基地負担の解決を求め、全会一致で意見書を可決してきた。

町民、県民の生命と安全を守る立場から、辺野古沖移設を強引に推し進める政府に強く抗議する。普天間基地の県内移設断念と早期閉鎖・撤去を強く求める。

提出者　浦崎みゆき
あて先　内閣総理大臣　他

要請決議

こども医療費助成の拡充を求める

沖縄県こども医療費助成制度は、通院が「3歳まで」、入院は「中学卒業まで」が対象となっている。

通院助成は全国でも下位の位置付けである。また「3歳まで」から「中学卒業まで」と通院対象が県内自治体間でも異なり、格差も生じている。

医療費の心配なく受診できるよう制度が拡充されることで、家庭の経済的負担軽減と病気の早期発見・早期治療につながる。

福祉向上と子育て支援のため、平成26年度から通院対象年齢を「中学卒業まで」拡充するよう強く要請する。

提出者　赤嶺奈津江
あて先　県知事、県議会議長

※本町は平成26年度から通院対象を中学卒業まで引き上げる予定です。

補正予算

全会一致で可決

一般会計の主な歳出

1億7989万円を追加し総額129億5984万円

こども医療費助成の自動償還開始 50万円増

こども医療費の自動償還を1月より開始しました。新制度に向けてシステム改修をします。今後は役場での助成金支給申請をする必要がなくなり、後日助成金が指定の口座へ振り込まれます。

南風原物産展の実行委員会補助金 595万円増

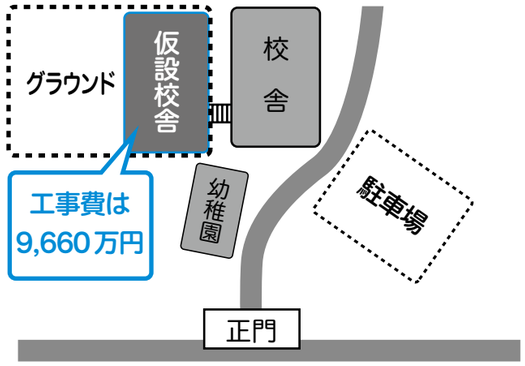
観光振興のため、南風原物産展をイオン南風原店で3月1日、2日に開催します。

暮らしにより身近な議案

北丘小、グラウンドに仮設校舎の建設始まる

3年間の計画で進めている大規模改修のため、仮設校舎をグラウンドに設置します。仮設校舎は平成26年3月末の完成予定です。

北丘小学校は、平成26年4月から校舎の改修工事を始め、27年10月末までに全改修を終える予定です。



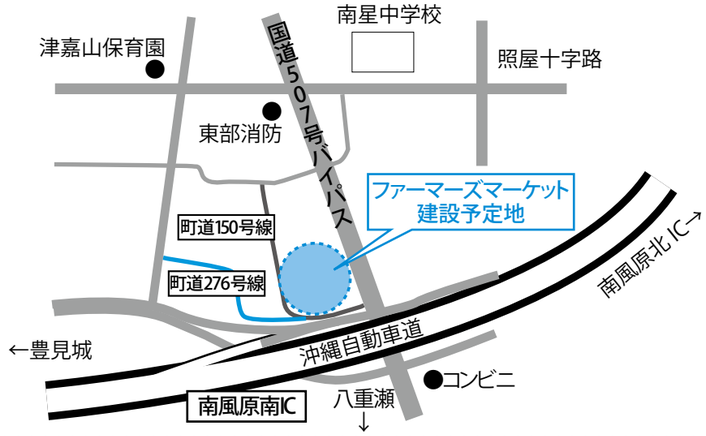
下水道使用料4月に改訂 農業集落排水にも適用

消費税の改訂に伴い、平成26年4月分から使用料が変わります。

一般汚水	水量	料金 現在	料金 4月～
基本	10㎥まで	546円	561円
1㎥につき従量	10㎥を超え、30㎥まで	73円	75円
	30㎥を超え、50㎥まで	84円	86円
	50㎥を超え、100㎥まで	99円	102円
	100㎥を超え、300㎥まで	126円	129円
	300㎥を超え、500㎥まで	152円	156円
	500㎥を超えるもの	157円	162円

ファーマーズマーケット予定地周辺の2町道を変更

JAファーマーズマーケット南風原の開発計画に伴い、町道276号線を130m減し、町道150号線を87m増に変更します。



委員会レポート

議案をより深く審査するため、2つの所属委員会に分かれ、必要な書類、資料を求め、担当課へ質疑しました。

総務民生委員会

経済教育委員会（現場調査）

総務民生委員会

委員長：宮城清政　副委員長：上原喜代子
委　員：玉城光雄・花城清文・金城好春
大城毅・浦崎みゆき

新型インフルエンザ対策会議

問 新型インフルエンザ対策有識者会義はどのような構成か。

答 南部医師会、区長会、関係機関（人権擁護委員・南部保健所・商工会・社会福祉協議会）を予定し、6人以内で組織する。

問 新型インフルエンザ対策本部と対策会義の関係性はどうか。

答 緊急時に対策本部が適切に意思決定できるよう、対策会義で行動計画を作成する。

問 行動計画はいつまでに作成するのか。

答 県は10月に作成した。本町も早めに作成することが望ましいため今年度中の作成を予定している。

経済教育委員会

委員長：知念富信　副委員長：赤嶺奈津江
委　員：照屋仁士・赤嶺雅和・宮城寛諄
玉城勇・大城真孝

町道150・276号線を調査

町道150号線と町道276号線はJAファーマーズマーケット予定地や南風原南ICの周辺道路となっています。委員は直接現場に出向き、渋滞や交通安全を視野に入れた変更が必要であると確認しました。

社会教育委員会の委員構成

問 社会教育委員を公募する考えはあるか。

答 社会教育委員会は生涯学習全般に関して幅広く審議・助言できるよう設置している。現在は元校長や老人クラブ、女性会経験者など5人で構成される。委員の公募については検討したい。

施策を問う ここが聞きたい

ファーマーズマーケット予定地周辺の町道整備を問う

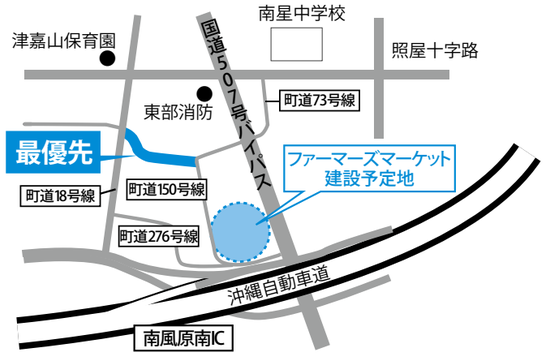
大城 真孝 議員

問 ファーマーズマーケットができることに関して、津嘉山の町道73号線とそこに続く町道150号線を拡幅して整備できないか。

副町長 指摘のとおり、町道73号線と町道150号線の早期整備が必要であると考える。今後、道路整備の事業導入に向けて協議・調整を図りながら取り組んでいきたい。

問 私としては、津嘉山集落からのアクセス道路である町道73号線を町道150号線より優先して整備してほしい。さらに言えば、町道73号線上でも町道150号線の起点部分から町道18号線に突き当たる区間の整備を急げないか。

経済建設部長 補助事業の導入を図りたい。そのためには、この周辺にどのような目的の道路整備事業申請を行うか検討する必要がある。この路線は、ファーマーズマーケットの進捗に伴い、道路整備事業を一緒に進めていきたいと考えている。



ファーマーズマーケット予定地周辺道路

警察宿舎前の下水道整備を急げ

問 津嘉山北土地区画整理事業内の警察宿舎前区画は、ほぼ造成工事が終わっている。早急に下水道工事を行うべきだと思うがどう考えるか。

経済建設部長 質問の箇所に早急な下水道整備の必要性を感じている。圧送ポンプによる整備を設計中であり、次年度に予算を組んで下水道整備に対応していきたい。

問 設計ができても「やはりやらない」ともなりかねない。整備するのか、しないのか、答弁をもらいたい。

経済建設部長 設計が完了次第、平成26年度にでも早期に整備を進めていきたい。

育英会貸与制度の見直しを

上原 喜代子 議員

問 近年、育英会貸与制度の活用はどのような状況か。

教育長 平成21～25年度の5年間で平均12.8人である。

問 現在までの未償還件数と未償還額はどうなっているか。

教育長 償還対象が36件、2千267万円である。そのうち現在も継続的に償還しているのは30人いる。償還が滞っている件数は6件、未償還額が625万5千円となっている。

問 償還の実情はどうか。また、病気などの救済措置として、返済を免除した例もあるか。

教育長 償還額を本人の支払いできる金額としたり、ボーナス時にまとめて支払うなど、実情に応じ対応している。また、病気で働けない場合の免除申請はない。

問 本町の育英会規約第12条「貸与額および期間」を利用者負担の少ない償還制度に創設する考えはないか。現状は、卒業後の翌月から起算して1年を経過したのち、貸与月額以上を4年間で返済する規定となっている。償還期間を見直せば、月々の返済額も少なくなり、精神的負担も軽くなるのではないか。

育英会貸与のおもな内容

応募資格	住所または本籍がある者 学校基本法の定める学校に進学 他の奨学金の貸与を受けていない	
貸与額	県外在学	4万円/月
	県内在学	3万円/月
償還	期間	卒業翌月の1年後～4年間
	返済額	月額以上の金額

教育長 償還額の見直しは、育英会規約の改正が必要となる。趣旨を十分に念頭に置き、次の役員会で検討したい。

ストーリー性のある緑の景観で名所づくりを

問 道路整備等で大きく変化する本町に、緑化推進の観点から緑のトンネルを意識した植栽ができないものか。

副町長 緑のトンネルを意識した植栽は、道路の高さを考慮するとかなり高い樹木となる。既存の道路内の植樹枡では高木植栽ができる規格となっていない。そのため、新たに整備する道路計画において検討したい。

こんな質問もしました

・商品開発など産業振興の成果と今後の方針は

中学生まで通院医療費の助成を

赤嶺 奈津江 議員

問 県内外には入院のみでなく、通院の医療費助成を行っている自治体もある。本町においても中学生まで通院にも助成できないか。

副町長 通院の年齢引き上げは、県事業の助成対象外である。そのため町単独での実施は財政的負担が増える。しかし、通院の負担が大きな家庭を助成する観点から、町では平成26年度より通院年齢を中学生まで拡充することを財源確保も含め検討している。

【これまで】
通院…3歳まで
入院…中学卒業まで
←
【平成26年度から】
通院・入院…中学卒業まで

問 県にこども医療費助成について中学生まで通院も対象にするよう要請してはどうか。

町長 町村会総会でも要請すべきということで、12月26日に県議会議長と県に対して要請行動を行った。少子化に歯止めをかける意味でも、安心して子育てできるよう、県に強く要望していきたい。

特別支援教育支援員を問う

問 発達障がい等でサポートを必要とする児童の中には、担任が代わると慣れるまで厳しい児童もいると聞く。そのような児童に対し、支援員が代わらないなどの配慮はなされているか。

教育長 特別支援教育支援員の採用は、3年間を限度としている。本人と学校の希望があり、配置人数が合えば同一の支援員を配置するように配慮している。

問 研修などでかなり予算をかけて人材を育成するのであれば、臨時職員であってもある程度の待遇を確保し、支援員を採用してはどうか。

教育部長 育てた人材が町でずっと活動していけるように、賃金面等についても配慮していきたい。

学級担任と支援員対象の研修会で児童のサポート充実を図ってます

県道観光ルートの除草を問う

知念 富信 議員

問 県道の除草作業はどのような判断で行われているか。繁茂している観光ルートの除草を県へ要求しているか。

副町長 県は南部管内の道路を年1回のローテーションで計画的に行っている。町民からの除草の要望には、そのつど県へ連絡し、対応を依頼している。

問 県道の除草作業を町で受託し、町内業者に除草作業をさせることはできないか。

経済建設部長 町に委託は難しいと回答があった。南風原町が含まれるエリアは、町内業者を考慮して発注されている。県とはそのつど協議を行っているので、町内の県道維持管理予算を町で受託可能か、再度詳細を求めていく。

通学路にグリーン歩道設置と電柱移動を問う

問 町道47号線（イエローハットから新川向け）の未整備道路にグリーンベルト設置ができないか。

副町長 設置すると車道部分の幅員が狭くなり、相互交通が厳しく、一方通行になる可能性があると警察署から意見があった。そのためグリーンベルトの設置は難しい。南風原小区では町道4号線にグリーンベルトを設置する計画がある。

町道4号線（翁長商店～小学校向け）にグリーンベルトが設置されました

問 町道47号線の未整備部分にある電柱を移動できないか。

副町長 道路占有者と移設が可能か協議していく。

問 町道11号線入口の電柱移動がいまだに撤去されていないのはなぜか。

副町長 NTTで引き継ぎの連携が取れなかったため遅れている。早急に対応したい。

黄金森公園入口のトイレを洋式に

問 黄金森公園入口のトイレは和式のため「洋式に」との要望が多い。取り替えできないか。

副町長 黄金森公園入口、宮城公園が和式トイレである。和洋混合トイレで整備したい。

ＪＡ組合員以外にもファーマーズ参加を

宮城 寛諄 議員

問 ファーマーズマーケットはＪＡ直営のため、生産物・加工品を出品するにはＪＡ組合員で、さらに会員となることが条件との説明があった。組合員以外のみなさんも野菜などを生産している。加工品を作っている人もいる。そのような方のために場所の確保ができないか。

副町長 組合員以外の方が出荷する場合は、組合に加入してもらうことになる。組合員以外の検討は現在行っていないが、要望が強いのであれば、検討すべきではないかと考えている。

集落内道路の速度制限を

問 山川区内の町道28号線は、集落内であるが40㎞制限となっており、危険である。速度を低くし、30㎞制限とできないか。

副町長 区長名で要請文を出してもらい、与那原署を通して公安委員会に要請していきたい。

せせらぎ公園前(町道28号線)の制限速度変更で事故防止を

介護保険制度の見直しを問う

問 介護保険で行っている要支援１・２の給付を市町村に任せて介護保険の給付から外すことを厚生労働省が検討している。要支援とはいえ、介護が必要となる恐れがある。専門家の援助を受け、在宅生活を続けられる方も多い。介護給付が外されることで症状が悪くなると思うが、どう考えるか。

副町長 要支援１・２の方は191人で、そのうち介護サービス利用者は140人いる。介護保険の給付が外されたことで症状が悪化することはあってはならない。そうならないよう制度移行後も努めていく。

問 特養老人ホーム入所は要介護３以上となることが国で検討されているが、本町はどう影響するか。

副町長 市町村の管理のもと、例外的に入所を認めることもある。

こんな質問もしました
・町道150号線・町道276号線の整備を

ファーマーズマーケットと周辺整備を問う

金城 好春 議員

問 ＪＡファーマーズマーケット建設の進捗状況はどのようになっているか。

副町長 平成26年９月上旬に工事着工を予定し、27年４月オープンに向け取り組んでいる。

問 建設の予算は示されているか。

経済建設部長 ＪＡの推進会議は設置されているが、予算や事業規模はまだ示されていない。正確な数字ではないが、店舗は297坪、敷地は約2千700坪になる。

問 予算はＪＡ単独か。国・県の補助があるか。それは何％補助か。

経済建設部長 建物は国の補助金を使い整備する。補助率は75％だと聞いている。

問 予定地の重要道路となる町道150号線は、車のすれ違いができないくらい狭い道である。改善できないか。

教育長 ファーマーズマーケット建設に併せて周辺道路の整備に取り組む。

津嘉山小の環境整備を

問 津嘉山小学校校舎の壁面は長い年月により色あせてきた。防水も兼ねたペンキを塗り、リニューアルできないか。

教育長 規模が大きいため、多額の費用が必要となる。財政面や事業効果などを考慮すると補助事業を活用して年次的に各学校施設も含めて検討していく。

南星中の校内緑化を問う

問 南星中学校の２階、３階に設置されている花壇には何も植えられていない。観葉植物のポトスを植えて緑を増やす事はできないか。

教育長 学校は環境整備計画を作って計画的に２階、３階の花壇の整備を検討している状況である。ポトスの苗も植えてみるよう提案していく。

南星中には植物が育ちづらい花壇もあります

こんな質問もしました
・英語教育の向上を目指せ

黄金森公園に駐車場を

宮城 清政 議員

問 黄金森公園に駐車場計画があると聞いたが、いつ頃で、何台予定しているか。

副町長 公園南側の駐車場整備計画は、平成28～29年度に、約25台を予定している。

問 駐車場以外で他に計画があるか。

経済建設部長 多目的広場の整備も予定している。

問 この多目的広場を駐車場にできないか。

経済建設部長 多目的広場と駐車場の高低差が4m程あり、難しい。

問 陸上競技大会や野球大会の際、町道5号線（公園外周）に路上駐車が多く、農家の方々に大変迷惑をかけている。5号線の整備はいつ頃予定しているか。

副町長 町道5号線の整備は、公園整備の進捗に伴って進めたいと考えている。

問 道路計画の中で、残地部分を駐車場にできないか。

副町長 計画を進めながら、そのような部分があれば有効的に活用したい。

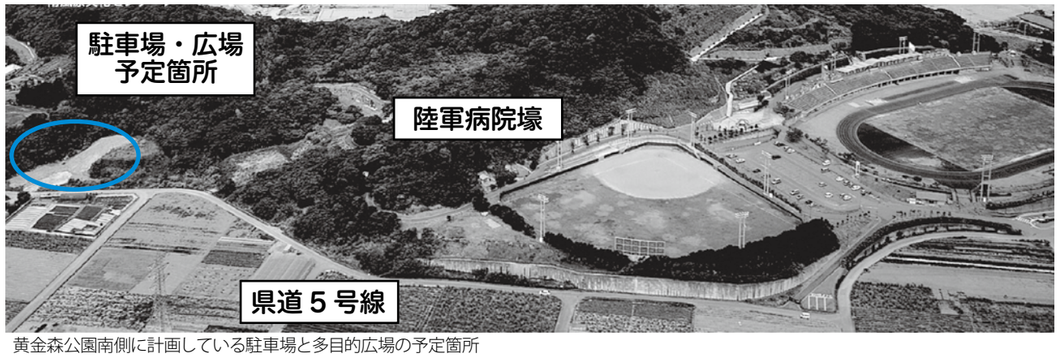
問 計画図面では、入口側が急カーブで残地部分は駐車場にできると考える。他のカーブ部分も残地ができそうである。線形を変えて駐車場部分を生み出せないか。

副町長 陸上競技場の入口部分は、カーブ区間であり、線形修正により残地が発生することが考えられる。駐車場として有効活用したい。

経済建設部長 他の部分については、土地改良事業で整備されたので、農地側に寄せることは難しいと考える。

問 農地側に寄せることが難しければ、公園側に1台ずつでも停められる計画ができないか。

経済建設部長 今後、町道5号線の整備を行う際、公園側に線形の修正関係で残地があれば、公園の駐車場として有効的に利用できるか検討したい。



黄金森公園南側に計画している駐車場と多目的広場の予定箇所

議会活性化に行政の協力を

照屋 仁士 議員

問 12月定例会に議会基本条例を提出している。政策形成過程の明確化と予算・決算の説明などこれまで取り組んできた内容を精査し、方法を工夫・改善することも必要と考える。政務活動費と併せて、条例制定後にさらなる協力は得られるか。

町長 最大限の努力をさせてもらいたい。

問 条例以外の部分、町民の要望や質疑、一般質問を含め、議員が提案する事項への検討や回答も併せて協力を得られるか。

総務部長 良い意見や指摘、苦言等、特に生活に密着するものは迅速に対応したい。

伝統芸能公演（行事）事業への助成を

問 平成24年度、那覇市をはじめ他の市町村では一括交付金で伝統芸能公演事業に助成を行っている。本町も実施団体の主体性を尊重しながら助成ができないか。

28年間の歴史がある神里エイサー（第3回南風原青年フェスタ）

教育長 昨年は宮平獅子舞がハワイ公演に参加した。津嘉山大綱曳きの旗頭が大阪の御堂筋パレードに参加した実績もある。県外・国外への公演も積極的に取り組んでもらいたい。派遣についても助成できるよう取り組む。

防犯灯・街灯のLED化を

問 平成24年度の一括交付金繰越事業で、石垣市は防犯灯のLED化を実施している。本町も各字の負担を減らすために防犯灯、街灯のLED化に取り組んではどうか。

副町長 本町でも防犯灯のLED化の効果を非常に期待している。導入に向けて取り組んでいく。

こんな質問もしました
- 町民（法人・個人）の所得向上に関する調査は
- バス停上屋の整備を

児童虐待防止の対策を万全にせよ

浦崎 みゆき 議員

問 児童虐待からの保護や窓口相談、近隣からの通報件数はどうか。

副町長 窓口相談が1件、泣き声等による通報が3件ある。

問 虐待等防止ネットワークの支援策はどうなっているか。

副町長 特別のケース会議なども実施している。今後は相談員の増員を検討し、児童への支援を図りたい。

県内の児童相談窓口

南風原町役場こども課	889-7028
沖縄県中央児童相談所	886-2900
子ども虐待ホットライン (24時間対応)	886-2900
児童相談所 全国共通ダイヤル	0570-064-000
沖縄県南部福祉保健所	889-6364

問 啓発活動としてオレンジリボンのピンバッチを作成する考えはないか。

副町長 効果的な啓発として検討したい。

待機児童をなくせ

問 保育園の待機児童は何人か。

副町長 平成25年10月1日現在で83人いる。

問 次世代育成行動計画は、待機児童を減らすための計画か。

民生部長 待機児童ゼロということではなく、定数の拡大が主である。計画目標1千240人に対し来年度1千260人となるため、定数増は計画通りである。

問 定数増が現状とそぐわない場合でも計画通り進む認識か。

民生部長 待機児童ゼロは全国的動きもあるため、今後計画の中で策定したい。

給食のアレルギー対策はどうなったか

問 公立保育所や学校給食におけるアレルギー対策を以前に質問したが、その後の進捗を問う。

教育長 宮平保育所では継続して除去食を提供している。学校給食は現在も除去食を提供していない。

問 給食での除去食を提供する考えは全くないのか。

教育部長 今後検討しなければならない事項ではあると考える。

問 別に調理室を作らなければ完全除去食は無理なのか。

教育部長 除去食は分けて作ることが最良である。今後取り組みをする際は、調理場であれば別の施設を作ることになると思う。大規模な施設になると考える。

こんな質問もしました
- DVの現状や対策は

辺野古容認への公約変更をどう思う

大城 毅 議員

問 政府と自民党本部は、圧力と強要で県選出自民党国会議員や自民党県議、自民党県連に辺野古移設容認へ公約を変更させた。公約変更は有権者への背信行為である。このやり方について、町長の見解を問う。

町長 自民党本部が県内移設の公約を撤回させる強権的な手法は、県民の反発を招く。辺野古か普天間の固定化か、この二者択一させる手法はいかがなものか。沖縄県内にたらい回しする手法はあってならない。圧力に屈して5人の自民党国会議員が公約を撤回し、辺野古を容認するとの報道に、悲しい思いをした。

問 今、求められているのは日米政府に対し、建白書の立場で頑張りぬくことと考えるが、町長の見解を問う。

町長 オスプレイ配備撤回と普天間基地の県外移設、即時閉鎖、返還を訴えていく。今後もそれを堅持したい。

教室へのクーラー設置とトイレの洋式化を求める

問 児童生徒の学習環境改善のため、一括交付金を活用し、クーラー整備をすべきである。4小学校、2中学校の一学年にかかる費用はいくら見込むか。

教育長 今のところ教室へのクーラー設置計画の予定はない。小学校一学年で3千800万円、中学校一学年で2千600万円が見込まれる。

問 学校トイレの洋式化を改修を行う北丘小学校から進めてはどうか。

教育長 改築事業等で洋式トイレに取り替えている。北丘小学校大規模改造事業でも洋式に取り替える計画となっている。

校舎内トイレの洋式化状況

南風原小	洋式に改修済
北丘小	平成27年度までの大改築で改修予定
津嘉山小	洋式に改修済
翔南小	未改修
南風原中	洋式に改修済
南星中	未改修

こんな質問もしました
- 特定秘密保護法への見解は
- 認可外保育園の認可化と充実を
- バス停に屋根、ベンチ設置を
- 県営団地の建替計画を問う

緊急用標識の設置を

玉城 勇 議員

問 南風原町内の土地改良区内の道路で起こる事故や災害等に備えるため、緊急用標識の設置ができないか。

副町長 通報者が現在地説明ができない場合、次のように位置確認をしていると確認した。

【警察本部通信指令課】
・電力およびNTTの電柱番号
・携帯電話のGPS

【東部消防通信司令室】
・携帯電話のGPS

すでに位置確認のしくみはあるため、緊急用標識設置は難しいと考える。

問 電柱番号は昼は見えるが夕方以降はどのように確認するのか。GPSは10mの範囲内で確認できるというが、時間はどのくらいかかるのか。

経済建設部長 夜間については問い合わせていない。また、GPSでの検索に時間がどの程度必要か、細かい内容までは今回調査していない。

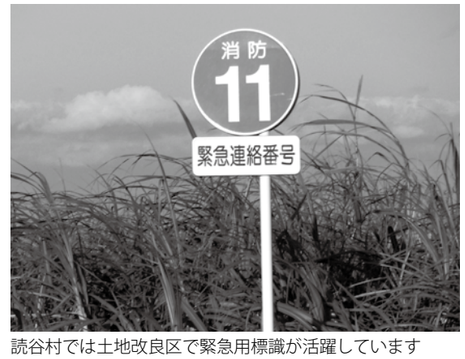
問 緊急用標識の必要はないという答弁だが、24時間を対象に調査するべきではないか。GPSについても町民の生命・財産を守るために、どのくらい時間がかかるか調査すべきではないのか。

経済建設部長 警察本部から標識を設置してもシステムに組み込むことが困難という回答を得たため、細かい内容まで聞いていない。

問 GPS活用の流れを調べてみた。本人が位置確認できない場合、消防指令でGPSを確認し、携帯電話会社のサービスセンターに問い合わせる。照会して返ってくるまで10分以上かかる。途中で電話が切れると分からない。これで安全といえるのか。

町長 緊急用標識をシステムの中に組み入れる方向で東部消防と連携・話し合いをしたい。すばらしいことだと思う

こんな質問もしました
・今後の都市計画を問う
・南風原・与那原バイパス周辺のまちづくりは
・南風原ダムの水利用を問う



読谷村では土地改良区で緊急用標識が活躍しています

家具等粗大ごみの再利用を

花城 清文 議員

問 町民から出される家具や電化製品など粗大ごみを再利用するため、那覇のリサイクルセンター「エコマール那覇プラザ棟」に加入してはどうか。

副町長 現在、粗大ごみは再利用せず、廃棄処分している。本町に適した方策を調査・検討していきたい。

電気料節減の財源で町民福祉の向上を

問 役場や学校等の照明をLEDに取り替え、節減した財源を町民福祉や子ども達の教育予算に使ってはどうか。一括交付金（沖縄振興特別推進交付金）を活用できないか。それが無理ならば、財政調整基金を活用しても費用対効果は十分得られると思うがどう考えるか。

副町長 一括交付金の活用でLED化を進めたい。長期的には費用対効果が得られるが、財政調整基金ではなく、一括交付金を基本に他の補助金活用も検討したい。

幼稚園にクーラー設置を

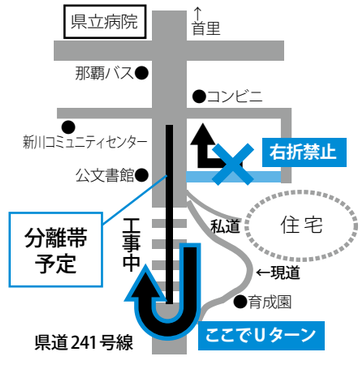
問 幼稚園は延長保育で保育時間が長くなったが、教室の環境はそのままである。体力的に弱い幼稚園児の熱中症が心配される。那覇市は中学校までクーラー設置を計画している。また、本町でも役場や宮平保育所には断熱フィルムもすでに設置され、涼しい環境で保育されている。クーラーや断熱フィルムの設置が幼稚園にも必要ではないか。

教育長 クーラー、断熱フィルムとも考えていない。

新川から首里向け右折できるよう変更の要請を

問 県道241号線整備で旧新川公民館前の町道から首里向けに右折できなくなり、住民が不利益を受ける。公文書館前の新川173番地付近にも住宅が数軒ある。その私道も右折できなくなり困る。今まで通り右折できるよう県と交渉できないか。

副町長 中央分離帯ができる予定で右折できない。中央育成園前で転回となる。安全面や渋滞緩和の面から現計画が望ましいと判断している。



宜野湾・南風原線の整備計画

はえばる議会だより No.184

沖縄県南風原町議会ホームページ
http://www.town.haebaru.okinawa.jp

町民の声

肌で感じた町議会

宮平 玉城彰公（たましろあきただ）さん（高校1年）

「議会を見に行く？」

春に高校受験も終わり、ゆっくりしていた夏休みに、祖母からの誘いでした。

私の祖母は議員です。私も働いている姿を見たかったので、さっそく役場に向かいました。

議場に着き、傍聴席にわくわくしながら座り、議会が始まるのを待っていました。

最初は和やかな雰囲気の中で話されていた議員の皆さまでしたが、議会が始まると一変。とても真剣な表情に変わりました。

「町や町民のために」という気持ちを胸に、自身の意見をぶつけているのだと、とても感じました。それと同時に、私たち町民の生活に直結することが目の前で行われているのを見て、とても心が動かされました。

2時間ほど傍聴しました。短い時間でしたが、得られることがとても多く、充実した時間でした。

この体験を無駄にせず、これからの高校生活に生かしていこうと思います。また、この記事を読み、興味を持たれた方は議会に足を運んでみるのも良いと思います。私たちの住む南風原町を再確認できることと思います。

自宅で・職場で・学校で 議会中継

多くの声に応えて
町ＨＰで議会中継を開始しました

南風原町議会中継　検索

http://www.town.haebaru.okinawa.jp

声 傍聴席でしか感じ取れない微妙なやりとりは、ネットでは無理だが質疑応答の内容は、十分配信できている。(60代・男性)

次回定例会の開会予定
3月4日（火）午前10:00

広報委員会

- 委員長　金城　好春
- 副委員長　知念　富信
- 委員　照屋　仁士
- 委員　大城　毅
- 委員　浦崎みゆき
- 委員　上原喜代子

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・ご要望も広く募集しています。

連絡先　議会事務局（担当：広報・調査係 翁長）
TEL.889-3097　FAX.889-4499
E-Mail:H8893097@town.haebaru.okinawa.jp

編集後記

南風原町議会は12月議会で「議会基本条例」を制定しました。

町長ともに南風原町の意思決定する機関としての議会の役割、活動原則など基本的なことを定めました。この中で「説明責任」や「情報公開」も明文化しました。

今号は基本条例ができて最初の議会だよりです。条例ができる以前から議会のようすを分かりやすく伝えるよう努めてきました。これからは条例上の義務になったわけです。

お読みになっていかがでしょうか。「はえばる議会だより」は県内の町村議会広報で最優秀賞を受賞しました。今後ますます「手にとって読んでみたい」と思ってもらえるよう、「伝わる誌面づくり」に広報委員一同、努力してまいります。

（担当　大城　毅）

発行／沖縄県南風原町議会
編集／議会広報常任委員会
〒901-1195 沖縄県島尻郡南風原町字兼城686番地
TEL(098)889-3097 FAX(098)889-4499
印刷／株式会社うるま印刷

VEGETABLE OIL INK R100 ※環境保全のため、古紙配合率100%再生紙と植物油インキを使用しています。